

令和6年度三郷市立南中学校学校経営グランドデザイン

【学習指導要領】

- ◇2021:全面実施から4年目
- 【埼玉県教育振興基本計画】
- ◇令和6年度～令和10年度:1年目
- ◇豊かな学びで未来を拓く埼玉教育
- 【埼玉県教育課程編成要領】
- 【指導の重点】



【学校経営の理念】

相互信頼に基づき、生徒の意欲を引き出し、向上を実感させる教育活動の展開

【三郷市教育行政重点施策】

- ◇児童生徒の学力向上
- ◇心の教育の推進
- ◇教職員の資質向上
- ◇教育環境の整備促進
- ◇次世代リーダーの育成
- ◇日本一の読書のまち三郷の推進
- ◇読書環境の整備と充実

【三郷の学校経営 令和の日本型学校教育の推進】

【三郷の教育 4つの礎、夢への挑戦】



学校教育目標

(み) 自ら学び (な) 仲間と光り (み) 未来に鍛える

昭和22年(1947年)開校 創立78年目

目指す生徒像

夢の実現に向け、たくましく努力を続ける生徒

学ぶ楽しさを実感し、意志を持って「わかるまで、できるまで」努力する授業で活躍し家庭学習で力をつけ、「わかる、できる」の積み重ねを自信にする自他を大切に、協力することの価値を理解し、その醍醐味を味わう自分のとりえやよさに自信を持ち、人や社会のために貢献する夢、志、目標を持つことの大切さを考え理解し、実現に向けて粘り強く努力する心と体の健康を自己管理し、意志をもってたくましく努力する

【学校経営の指針】

「教育は人、教育は信頼」を基盤に「成果が見える、語れる」わかりやすい教育の実践

目指す教師像

生徒の意欲を引き出し、達成感を味わわせる教師(準備力と徹底力)

- ・生徒をやる気にさせる「言葉」を持ち、学ぶ楽しさを味わわせる
- ・「?と!」のある授業等で生徒を活躍させ、自信をつけさせる「手法」を持っている
- ・教育公務員としての自覚をもち、「生徒の手本」となる言動がとれる
- ・学び続け、指導力を高めるための努力や工夫ができる
- ・健康第一、常に前向き、はつらつとした姿で仕事を楽しむ
- ・「チーム南中」、仕事の流儀(3S、責任、改革、協働)を大切にすスピード・スマイル・スピリット

目指す学校像

「夢・絆・感謝」でキラリの南中
～一生懸命がかっこいい～

- ・温かな人間関係を築く学年・学級経営の推進
- ・計画、運営、評価を通して活動の質を高める教育活動の推進を常に意識した教職員集団の育成により実現する。

学校研究主題 「未来に生きる学力の育成」
～居心地のよいクラス・向上を実感できる授業・計画的に積み重ねる家庭学習を通して～

〈最重点〉学ぶ力を伸ばす!～数値で示す学力アップ～

学ぶ力伸長スローガン

居心地のよいクラス・向上を実感できる授業・計画的に積み重ねる家庭学習

目標

- ①県学調生徒質問調査の数値アップ 5月<2月
- ②「中1県学結果」<「中2、中3県学結果」
- ③「中3全学結果」:全国平均との差-1ポイント以内
「中1、2、3県学結果」:県平均との差<前年度の県平均との差
- ④「実力テスト」での偏差値:昨年度の最終回より向上
- ⑤学校評価「授業改善」3.5以上(R05→3.24)



最重点に続く4つの重点及び主な方策

- (1) 長期欠席生徒の対応の工夫
【全欠生徒0、関わり率のアップ】
- (3) 教育環境整備・保健安全指導の充実
【学校評価「環境整備等」3.4以上(R05→3.21)】
- (4) 小学校及び保護者、地域との連携強化
【学校評価「保護者等との連携」3.5以上(R05→3.24)】
□学区内小学校の支援担当訪問参加
□小中連携対応教諭の活動の充実
- (5) 夢を育む教育の充実
【学校評価「特色ある学校」3.4以上(R05→3.22)】
□「夢への挑戦」のいずれかに全生徒が挑戦
□ボランティア活動の推進(生徒会等の発案による)

(1) 学年・学級経営の質の向上(居心地のよいクラス)

【県学調生徒質問調査の数値アップ 5月<2月】

【学級経営】

- 学年・学級経営案作成の工夫と活用→印刷室掲示
- 学級活動の工夫(学び方を学ばせる):統一指導案
- 生徒主体の係活動・学年集会への移行

(2) 授業力の向上(向上を実感できる授業)

【学校評価「授業改善」3.5以上(R05→3.24)】

【授業力向上】

- 「授業の心得」の指導の工夫
- 学区内小学校の支援担当訪問に参加
- 思考力を伸ばす授業の確立と実践(小中連携を通して)

(3) 家庭学習の向上(計画的に積み重ねる家庭学習)

【1日の家庭学習時間 1年:1H、2年:1.5H、3年:2H...80%】

【家庭学習】

- 365日毎日家庭学習(家庭学習時間チェック)
- 学びのキラリ賞、学びの二者面談
- 学級活動の工夫(学び方「授業、家庭学習」を学ばせる)

(4) プラスα小中連携教育の推進(高州東小との研究委嘱を学校区内に生かす)

(5) プラスαタブレット及びオンライン授業の実践拡大